

私は新聞記者 *I'm a journalist!!* 地雷博物館編

本日の活動：新聞記事を書いて編集長に提出する アキラさんの地雷撤去の取り組みを記事にしよう。



一人前の新聞記者になるべく頑張るあなたにステップアップのチャンス到来です。署名入りの記事を書かせてもらえることになりました。提示される情報や自らの取材から取材メモを作り、それをもとに英語で記事を書きます。優れている記事は表彰されます。

取材対象は、カンボジアの地雷博物館とそれを運営するアキラさんです。彼の母国カンボジアや地雷博物館、彼の将来の夢などについて書きましょう。

完成した記事は編集長が評価します。

<活動の流れを于エツクしよう>

STEP1 取材メモを書く(教科書・動画・本などを参考に)

STEP2 写真や取材メモをもとに記事を書く、記者の考えも書いてよい

STEP3 編集長に提出して評価してもらう



地雷博物館を運営するアキラさん
カンボジア出身

■記事は**タイトルと___文以上の英文**で書きます。**時間は___分**です。

■上位___名に**アキラ賞**(神龍印×2)を、最高点の記事には**最優秀記事賞**(神龍印×2)を与えます。

■編集長の話、教科書、資料などから**取材メモ**をつくろう。

<あなたの取材メモ>

編集長の取材メモ(右)も自由に使ってOK!



<編集長の取材メモ>

- アキラさんは地雷除去の技術を独学で学んだ。
- 地雷博物館には約5,000個の兵器が展示されている。
- 全ての地雷を撤去するには100年以上かかる。
- アキラさんの両親は彼が5歳の時(1978年)、クメール・ルージュによって殺された。
- 対人用のプラスチック製の地雷は発見するのが難しい。
- 2018年にアキラさんは警察に逮捕された。

(例) カンボジアにはまだ多くの地雷が残る。Many landmines are still buried in Cambodia.

<記事作成のポイント>

- 主語と動詞を意識しながら正確に書こう。でも、必要以上にミスを恐れず積極的に書き進めよう。
- 記者の気持ちや考えを盛り込むと記事に深みができます。「**I like~**」や「**I think~**」を使おう。
- 編集長に**アドバイスを求めることも可能なので積極的に質問しよう。**
- 活動の感想を書きましょう。

	年	組	番
	名前		

◆即興性を意識させ、間違いを恐れずに書かせる。ALTに評価・文法指導してもらおう。
◆内戦や地雷撤去の話題から世界平和やSDGsの学習へリンクすることもできる。
◆勢力圏を広げようとする大国に翻弄されたカンボジアや2021年にクーデターが起きたミャンマーのケースを平和について考えるきっかけとしたい。